

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【公表番号】特表2010-511756(P2010-511756A)

【公表日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【年通号数】公開・登録公報2010-015

【出願番号】特願2009-539686(P2009-539686)

【国際特許分類】

C 08 L 23/08 (2006.01)

C 08 L 23/10 (2006.01)

C 08 F 210/06 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/08

C 08 L 23/10

C 08 F 210/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月18日(2010.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重量%で、

(A) プロピレンホモポリマー、又はプロピレンとエチレン及び $\text{CH}_2 = \text{CHR}$ の - オレフィン(式中、Rは炭素数2~8のアルキルである)から選択される1種類以上のコモノマーとのコポリマー(ここで、コポリマーは8%以下の1種類又は複数のコモノマーを含む)、或いはかかるポリマーの組み合わせ10~25%;

(B) エチレンと、(i)プロピレン、又は(ii) $\text{CH}_2 = \text{CHR}$ の - オレフィン(式中、Rは炭素数2~8のアルキル基である)、或いは(iii)これらの組み合わせ、並びに場合によっては少量のジエンとのコポリマー(54~65%のエチレンを含む)75~90%;

を含み、いずれも(A)+(B)の合計重量に対する、コポリマー成分(B)の含量Bと室温においてキシレン中に可溶のフラクションXSとの重量比:B/XSが1.50以下である、ポリオレフィン組成物。

【請求項2】

いずれも(A)+(B)の合計重量に対する、室温においてキシレン中に可溶のフラクションXSと全エチレン含量C₂との重量比:XS/C₂が1.15以上である、請求項1に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項3】

XSフラクションの固有粘度[]が3dL/g未満である、請求項1又は2に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項4】

同じ成分(A)及び(B)と同じ割合で含むが3dL/g以上のXSフラクションの粘度[]を有する前駆体組成物を分解にかけることによって得られる、請求項3に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項5】

少なくとも 2 つの逐次段階を含み、第 1 段階を除くそれぞれの段階において、前段階で形成されたポリマー及び前段階で用いた触媒の存在下で運転する別々の次段階で成分(A)及び(B)を製造する、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のポリオレフィン組成物を製造するための重合方法。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のポリオレフィン組成物を含む製造物品。

【請求項 7】

押出又は射出成形によって製造される、請求項 6 に記載の製造物品。

【請求項 8】

シート、フィルム、及び自動車部品の形態の、請求項 6 又は 7 に記載の製造物品。